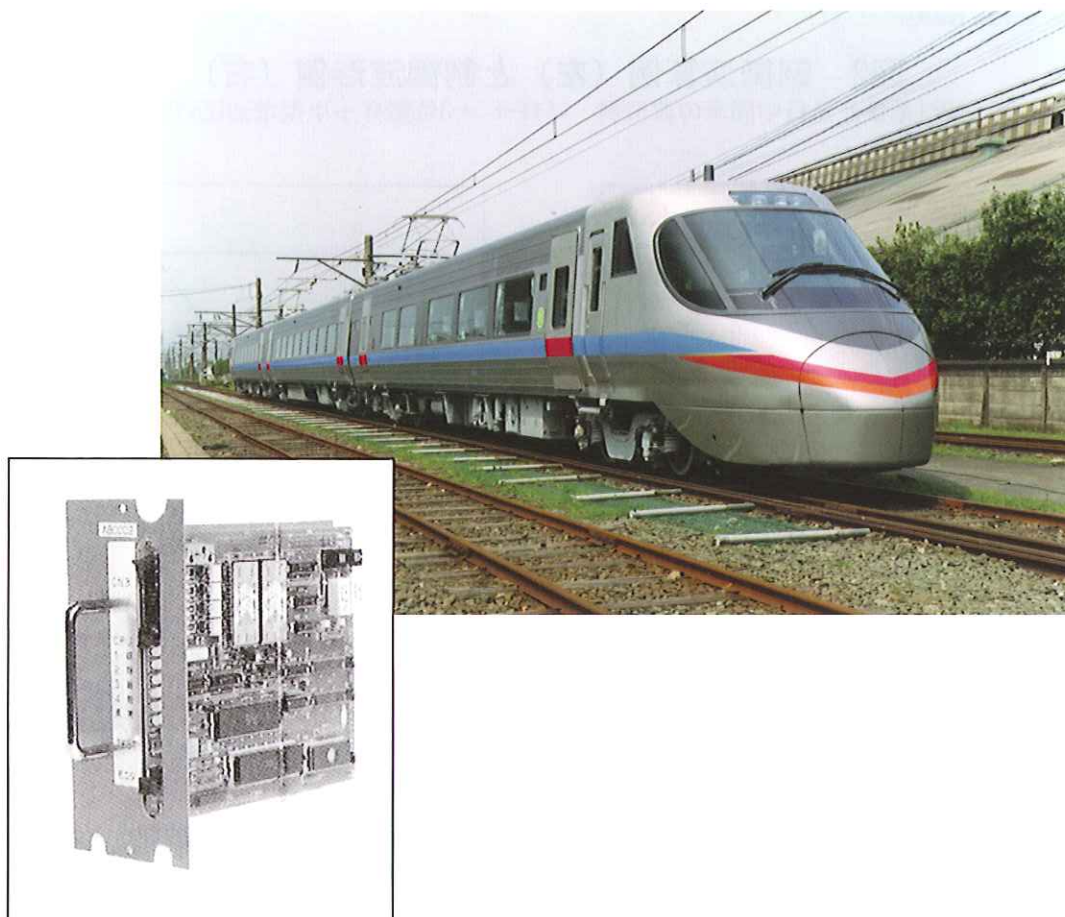


低コスト型フラット防止装置

【概要】

滑走制御装置は、新幹線や在来線特急車両等で車輪のフラット防止等に効果を上げています。しかし、装置が高価であることから通勤電車等には普及が遅れており、低価格な滑走防止装置の開発が望まれていました。そこで、低価格で軽量化した低コスト型フラット防止装置を開発しました。

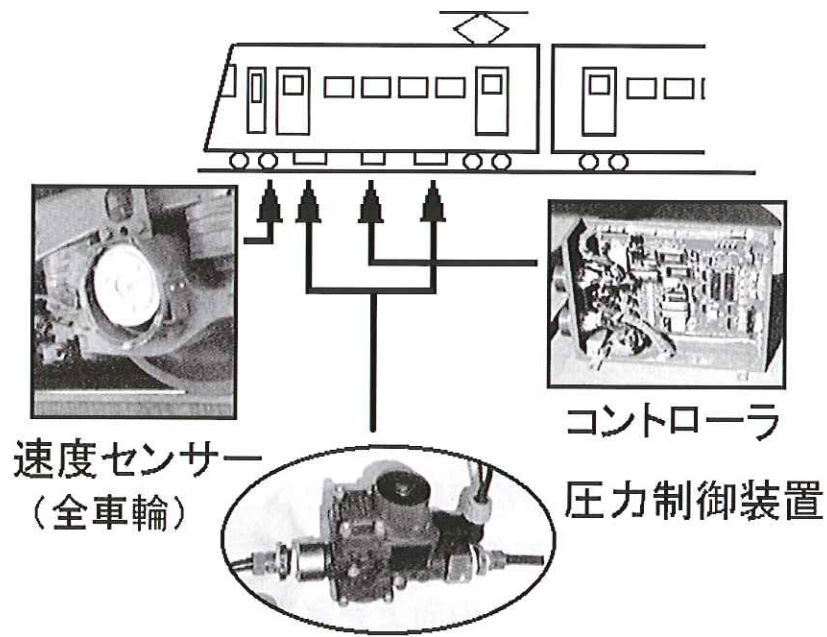


【特徴】

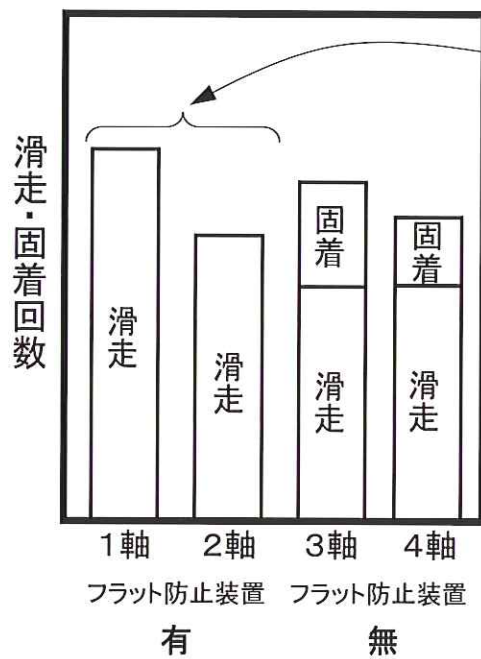
量産により低廉化された自動車部品等を多用することにより、装置としてのコストを従来より下げるとともに、軽量化も実現しています。

【用途】

JRの電車・気動車及び一部民鉄車両でも使用されています。



低コスト型フラット防止装置の構成



先頭 1・2 軸は滑走回数が多いにもかかわらず、固着に至っていません。

固着を発生させなくすると

- ・乗心地悪化が防止できます
- ・車両部品や軌道への衝撃が少なくなります
- ・車輪削正のための経費が節減できます

フラット防止装置による効果

【実施例】

JR北海道(183系気動車)、JR東日本(215系電車)、JR四国(8000系電車)、一部民鉄で利用されています。